

第8回ホスピ川柳 1次選考通過作品

株式会社 名優

作品	雅号
点滴の しずく 数えて 夜長かな	あい
来年も 言わせてほしい また来るね	会いに行く
白衣には ポケットごとの 祈りあり	葵
繰り返す それでもいいよ 貴方なら	あおい
手を握る 言葉いらない 処方箋	青い風
父逝きて ありがとうございます こちらこそ	あおいそら
目の前の 人に手を差し のべる職	あおによしお
非力だと 嘆き涙し ただ祈る	赤い箱
ナースコール 鳴ればスイッチ 入るギア	明石羽マバウ
優しい手あたたかい手に憧れて	あかりちゃん
「また明日」 交わす笑顔が 処方箋	あきパパ
おむつ替え 遠いむかしの 恩返し	あきらの次男 顕二
マスク越し 笑顔のシワが 処方箋	あこ
薄れゆく 記憶の底に 僕がいた	アザミケンタロウ
滅菌で 命の舞台 支える手	足立 洗浄
聞こえるか 来世で会おう じゃあまたな	あっこさん
その経験（わざ）も 涙もすべて 糧となり	アトマパパ
「大丈夫？」 言った私が 励まされ	アトム
「もういや」と 叫ぶ背にただ 手を添える	あなぐらもぐら
カルテには 書けぬ人生 寄り添って	あまね
寄り添えば 心静かに 落ち着く日	あやねんご
止まってと祈る命の砂時計	あゆむ
父が待つ空へ逝く母きれいだよ	阿波の風
「ごめんなさい」 君が言うなよ 僕が言う	アントニオ馬場
好きな歌手 小さく笑う 母の顔	胃薬大臣
丁寧な 言葉仕草に 励まされ	イズタツ
大丈夫 言ったあなたが 震えてた	一石投げ太郎
『ありがとう』 ベッドの母に 伝え泣く	いっちー
魅せますよ ゆったり介護いつまでも	いつはるひか

作品	雅号
そっぽむく 痩せた背中の中の 肩叩く	一風変わった知識人
「ありがとう」紙オムツにも礼を言い	田舎のオバサン
生きたかった 母のぶんまで おれ生きる	いな作
昨日より 小さくなった 母を抱く	イブキング
ただ母は刹那を重ね生きている	今来主信玄
その背中 追いかけて今日も 前を向く	いももち
一口の リズムを刻む 喉ボトケ	岩音
何度でも 言って何度も 笑うから	うえきや
懸命なお世話はきっと報われる	上を向いて歩こう
言わなくていいよ母さん 「すまないね」	ウシたん
忘れてもいいよ私が忘れない	うしとら
以前より 会話が少し 増えたよね	うどんうどん
泣く父を 見てから母は 強くいた	うどん人
忘れない 忘れられても 忘れない	うみパパ
訪問の 先生方に こうべ垂れ	梅おにぎり
砂時計 逆さにしたい まだ生きて	麗
「お大事に」 そうか俺今一大事	烏蘭
病室で 笑顔をくれた あなたの手	えいさく
名前出ぬ 母にニッコリ 「愚息だよ」	AAジョーダン
ほほえみの 備蓄放出 ありがとう	笑顔の父さん
痩せた手で 強く握った 最期まで	江川蒼
おむつ替え礼は言うなよまだ早い	慧観
空きベッド 良いお報せであるように	エコノミー
「美味しい」の 声が聞きたく 今日に行く	STST
「だれだっけ？」 それでもいいよ そばにいて	えぞん
頑張った 声を掛け合う 枕元	えぺ
みんな言う 申し訳ない 言わないで	恵里
もう少し あなたといたい 逝かないで	エリカ
ありがとう 泣けど叫べど そればかり	塩分が好き
「逝くなよ」と 「楽になって」が せめぎ合い	おおか
来年も 桜見ようと 指を切る	おーさん
まだまだだ 味わい尽くす 人生を	大林二茶
正解は あとから滲む ありがとう	おおもり ばすた
ありがとう 生まれ変わって また会おう	おかぴ
白衣越し 見えぬ疲れに 手を添える	沖縄の松尾芭蕉

作品	雅号
もういいと言うな言うなよまだ逝くな	置楽
小言でも いいから言えよ なあオヤジ	おさんぽさん
ドア越しに アイコンタクト 「ありがとう」	おずからはまし
1人泣く 部屋の前には 母の粥	お茶餅
羨まし 親と酒飲む 親孝行	おっさん
まくらもと 答えぬ母を 呼びつづけ	踊 ヘップバーン
愚痴さえも 笑いに変える 詰所かな	おにぎり忍者
手を添えて 言葉なくても 伝わる日	CH
ありがとね その一言で 延命中	おまつ
遠慮せず 恥ずかしがらず 助け待つ	おみっぺみっぺ
マニュアルを 閉じて寄り添う 君の椅子	おむらんだ
じっくりと 顔見て思う 父の子だ	オンザライス
口癖は 早く帰んな 最期まで	温泉親爺
いちにのさん今日は立てたねその調子	かーこ
久しぶり 大人になって 手をつなぐ	怪傑もぐり33世
疲れても はい喜んで 励む日々	介護の天使
介護とは できるを守る 手伝いだ	カイジ
手に取れば どの写真にも あなた居る	かいとん
寝たきりの 母に教わる 人の道	かえるぼん
あと少し 命を繋ぐ 夜が明ける	香川
いつだって母の港と母の森	かきくけ子
逝く前に義母の「義」 取れて母を抱く	各下奈磨江
お礼なら こっちの台詞 ありがとう	カジ
ねぇアナタ 褒めてくれます？ この余生	カズマゲドン☆
わがままでいいからずっと側にいて	風まかせ
これからも 共に生きたい この家で	かっちゃん
忘れない 強い親父の あの姿	カトラス
使い捨て できぬ絆が ここにある	鹿野田善頌
母は今 無垢な少女に 戻ってく	かばくのかば
お母さん もっと介護を したかった	かぼちゃ
無くなった手足が見せる意思表示	我楽句多
笑ってる 母の顔ある 声がある	かりんとう
効きました笑顔治療の看護師さん	カワサン
生き切って 母は笑顔で 帰宅した	河野文明
朝が来た 今日も一日 おつかれさま	がんばるナース

作品	雅号
ありがとう 思いを込めて 背中拭く	キイロイトリ
ありがとう 母は最後の最期まで	菊女
逝かないで 声出ぬ母に 子がすぎる	菊乃 妙
棚の奥 誰かの未来 待っている	北風は詠み人知らず
生きているこの痛みこそ命かな	キツツキスズキ
穏やかさ 取り戻すため 選ぶ道	希望を携えて
誤嚥から 命を託す この御縁	キムりん
凹みには 確かに母が いた証	逆ペリカン
点滴の 管は親子の 糸電話	キャサリン
名医とは 患者の話し 聞ける人	京橋流星
生きていい 負けずに生きろ そばにいる	きりんちゃん
孫と手を 繋いで歩く 望み背に	金次郎
その涙落ちる前から手で拭（ぬぐ）う	くがかん
言いたくて 飲み込む言葉 春の風	愚水
抱きしめる 強気な母の 弱気をね	口笛歩来
初めての 褒め言葉抱く 何度でも	くどうん
今だけは孤独じゃないよまだ二人	櫛
「ありがとう」 その一言が 原動力	クボヒロ
口喧嘩 出来る幸せ 教えられ	くまもんきち
何度でも 話を聞くよ お父さん	くみくみ
それぞれの海を見ている自由席	雲がくれ
声にならぬ 思いを乗せる スプーンかな	クロ
ありがとう その一言で 夜勤明け	くろべ
人生は いつかより今日 吉となる	継
辛いとは 言わない父が 泣いていた	ケイ
もう一度 もう一度だけ 目をあけて	けいこ
休憩中 休んでるのは 名札だけ	けー
好きだった ワイン末期の 水にして	K・U
また明日 よりも言いたい おかえりと	けんじゃー
呼べば響く ナースコールに手を合わす	玄次郎
頑張れが 頑張ったねに 変わる朝	けんちゃん
羨まし 気持ちは何時も 女学生	コアラ
許さぬと言ってる父の目に力	恋太郎
不自由を支え自由と再会す	紅紫あやめ
大丈夫 だってあなたは 私の子	こうちゃんママ

作品	雅号
もの言えぬ 母が真顔で 俺諭す	孝堂
最期には 尽くした人が 尽くされる	コーリー
お大事に 言うて自分が お大事に	コガチャン
ごめんねと 言わせてしまう つらさかな	こきち
できること 一つ増えては 春を待つ	ココ
寄り添えば 痛み半分 笑顔倍	五香水貴
逝かせない 息よ止まるな 時止まれ	寿 優花
その笑顔 タダ者じゃない プロ意識	こはる
母ちゃんよ 俺はやっぱ アンタの子	小春日和
ばか息子 気がかりだろう 逝くな母	こま日和
限りある 今だからこそ 笑ってたい	こむぎ
看護して冗談を言う 仲になる	こんちゃん
愛犬も 病治れと 頬舐める	サークルシャイン
がんばるぞ ベット離れた 婆さんや	斉藤勝
病院は 毎日奇跡 あふれてる	佐伯
その一手 誰かの明日を 支えてる	相模国 静流
瞑る目に映っているか桜色	朔小
限界の 少し手前で 今日立っ	さくら
病室を出るまで涙封印し	さくらくる
百年じゃ 伝えきれない ありがとう	桜小町
お大事に 魔法の薬 届けます	さくら舞
ひ孫抱き母が笑顔を思い出す	さくらみるく
良い天気 そんな会話で 満たされる	さくらんぼ
いかないで もう少しだけ そばに居て	佐々木
握った手 それだけでいい ありがとう	幸
シワの数 刻んだ日々に 手を合わせ	佐藤
昨日より食べたごはんに希望みる	さとしとさ
機械には 代替できぬ 看護心	さな
匙一つ 生きたい力 食らう父	五月雨
またねとは 言えずに笑う 退院日	白湯
手を握り 母になるよと 言えぬまま	さゆ
車イス 似合うアナタに 惚れ直し	さらっぷる
生きること 見せてくれてる 毎日だ	三月
名を呼べば 返事のように 手を握る	三休
ありがとう うちよりずっと くつろげた	燦々

作品	雅号
マッサージしてる私が励まされ	三之助
帰る背に 声にならない ありがとう	seacat
「がんばったね」明日もリハビリ頑張れる	じいじ
泣くなよと 言ってる父も 泣いている	しーしー
もう一度呼んで！わが名をわが母よ	市井人
かたるには かぞえきれない ものがたり	しがない介護士
人はなおあなたを思い生きて行く	しげ
検診で あなたの笑顔 癒される	シゲアキ
「大丈夫」 その声だけで 救われる	ししみまなみ
「ありがとう」最後に聞いた その言葉	閑香
「おはよう」と 笑顔で言える 朝が来る	七味唐辛子
枯れた手に力を戻すひ孫かな	紫月
あなた誰涙堪えて「息子です」	膝笑
心電図 孫の電話で 変わる音	しの
ばあさんの恋文のある古筆筒	島風ひゅーが
笑いあり ワタシとアナタ シワとシワ	シモンの指紋
沈む日に 灯る明かりは 消えないよ	十牛
夜勤明け 窓の向こうに 朝ぼらけ	蹴球小僧
車椅子の母父摘んできた花握る	秋月
空にあなた 呼ぶ母の手を 離せない	就職氷河期
だんだんと壊れる母を介護する	十猪
下の世話 いくらでもする 逝くな父	寿老人
親不孝 動かぬ母に 泣きじゃくる	俊ちゃん
手をにぎり ことばなくても 伝わるよ	しゅんちゃん
帰り際 患者さんから お大事に	鍾馗
白衣着て 今日誰かの 春になる	しょうぴ
血圧の 数字の奥に ある暮らし	joe
俺だよ俺 詐欺ではなくて 息子だよ！	白犬34号
日々はそう奇跡だったと思い出す	白熊なつみ
帰り道 窓から覗く 母の顔	JIROCHAN
見つめる目 最後の言葉 ありがとう	しろやん
車椅子急ぐ玄関孫来た日	真空管
まだ消すな 神よおやじの 命の火	新月うさぎ
ふと思う 平々凡々 非日常	しんそうパパ
握った手 離したくない 離さない	シンプル

作品	雅号
母よ母 もう嗚咽しか 嗚咽しか	新屋洋子
おやすみに 込める願いの また明日	翠夏
車椅子 押す速さにも 思いやり	すーさん
そっと閉め ドアに向かって また明日	すけさん
カルテには書ききれぬほど生きた日々	スズキセーホン
歩けたよ 廊下の窓に 滲む顔	鈴木辰彦
風邪ひくな 父に言われる オレ五十	ステップアップ
よくできた 励まし受けて もう一步	炭 練鍛
終末期冗談言える叔父強し	すみっこ
「帰りたい」 言えない母と 帰りたい	スンスン
繰り返す 目と目を合わせ 聞く姿勢	井蛙
先生の顔見りゃ治る母の不治	誠晏
マスク越し 目元で交わす 「ありがとう」	瀬海
退院後何できるかな恩返し	せきぼー
病室も家族がいれば我が家かな	セキレイ
また来るね それが最後になるなんて	セブン
孫と呑む夢を抱いて薬飲む	洗濯日和
桜咲く明日を目指してまだ逝くな	惣十郎
おかえりと言える幸せ大切に	蕎麦
背中越し 言わんでくれよ ゴメンねと	そらがすき
出てこない あなたがつけた 私の名	そらのオトン
祖母が言う ここの人たち 神様よ	そらまめ
ありがとう 指で白衣に なぞる祖父	それが大事
目を開けよ！意識よ戻れ！まだ逝くな！	そんちく
「大丈夫」 言った私が 救われる	たー
虫歯菌 やっつけるのも 身のこなし	ターボ
マスク越し 笑顔伝われ 目の力	たいたいはるはる
生きていて 恩も感謝も 返すから	タイフーン
看取っても 恩返しには まだ足らず	滝沢涼
最期まで あなたらしくを お手伝い	たきな
親父さん叱ってくれよ最後まで	拓ちゃん
「完食」と 書くペン先に 乗る力	武沢華彦
しゃべることできぬあなたの手を握る	たけやん
介護する人にも笑顔増えてくれ	タスク
救いたい 目の前にある この命	黄昏のネギポン

作品	雅号
点滴の しずくに混ざる 「ありがとう」	ダッチ
母の笑み 原動力と 安心と	タツナミソウ
父と母 最期に交わす また逢おう	Wキャンサー
一緒にいい 涙堪える 帰り道	たまごきみこ
「徘徊」と 書かずに「散歩」 ケアプラン	魂
白衣脱ぎ ひとりの母に 戻る朝	たまちゃん
仕事終え 無口のままの 優しさよ	ダヤン・キャット
最期くらい、見護らせてよ、おじいちゃん	たろう
点滴の 一滴ずつ 夜が明ける	たんたん
笑ったよ 最後に母は 私見て	千 e
支える手 支えられてる この仕事	チェユタ
できること 減る日もそっと 寄り添って	ちくわーん
白衣着て 今日も笑顔の 処方箋	チッチ
「あーん」して 母へと返す 離乳食	ちみ
頬を撫で 詫びる最期の 親不孝	中年やまめ
臥してなお 母は喜ぶ 人の幸	ちゅんすけ
雛納め 待たずに母の 雛流し	長男ヒロタン
居てくれた ただそれだけで ありがとう	つー
こちらこそ 日々の関わり たからもの	ツクヨミちゃけこ
分からないはずの私に笑む父よ	つちのこ
さようなら 最後の言葉 言わせない	つくくん
晴れた日の みてほしかった 晴れ姿	つなのかん
握る手がまだ温かいまだ居たい	つべる
手を握る 言葉にできぬ 思い込め	つんたか
手のぬくみ 言葉にならぬ 処方箋	T.E
ナースコール 鳴れば誰かの 人生だ	ていーら
もうむりや まだそんなこと 言わないで	テスキム
弱くなる ほどに握る手 強くなる	てつ子
優しいな 思いやりだね 一番に	デンセンマン
ありがとう その一言で 救われる	てんちょ〜
「ゆるしてね」 いまわの言葉 重すぎる	都井の風
最期まで なぜ最期まで 笑う父	糖質無制限
ありがとう 誰かの明日に になれる職	トキさん
握る手の ぬくもりだけが まだ返事	特眠
目を閉じた 母にただただ 「ありがとう」	トシ

作品	雅号
ありがとう いいえ私があります	としぼろす
車椅子 押される母が 道案内	どすこい！よ一た
親孝行 悔いなく俺に させてくれ	となみ
人生の 歩く手助け 道遥(みちはる)か	十三
ひと口に ひと声かける 枕元	富子
「ありがとね」 背中さするとほほえんで	とも
『また明日』 その一言が 薬です	トモちゃん
笑い声 今日の元気の 処方箋	dora
愛・想い 背負う 静かな 力持ち	努力の凡才
「すまないな」 よせやい親父（おやじ） 親子だぞ	トンちゃん
お大事に その一言に 想い込め	どんちゃん
ありがとう まだ伝えたい そばにいて	仲あい
介護好き 念には念を 今一度	中島みゆき
最期まで 強くて弱い 母だった	なかちゃん
まだまだね 奮い立たせて 日々仕事	泣き虫
「さよなら」は 嫌だ「またね」を あと幾重	なぐさん
いい母でなくてごめんと母は逝き	なし
もう十分 よくがんばった ありがとう	夏風かをる
リハビリの一步目 地球押し返す	なつふね。
胃癢せずして欲しいのは慰労だと	なつみ
お大事に 何より沁みる その笑顔	夏目
その一言 薬以上に 沁みてくる	ななな
声ひとつ こんなに人を 救うのか	Nanana
祖父を看た父を今度は僕が看る	なにわ紳士
死にたいが 生きたいになる 介護の手	なんきんも
その暮らし 必ず守る 全員で！	ナンダカンダフジイ
ベッドにて 何度目の春 見たことか	南北夜時代
食欲を四季の行事がそそります	にこ
マニュアルの行間埋めるおもいやり	西片町七
父起床 今日も一日 娘なり	西野 みどり
「お母さん」 まだ呼ばせてよ お母さん	にしもも
ありがとう介護疲れも飛ぶ言葉	にぼし
車椅子 押せば笑顔の 花が咲く	沼津っ子
弟へ生まれてくれてありがとう	ねこしま
格差より段差に嘆く車椅子	猫じゃらし

作品	雅号
手を握る その温もりが 処方箋	眠猫
痛み無い 時は笑顔が やって来る	年猫
医師からの 手書きのカルテ 怪文書	のぎ
「もういいかい」 いいえ母さん「まあだだよ」	のだっち
最期まで わがままごめん 逝かないで	のぽ丸
手を合わす その手をほどき また明日	暢気丸
いてくれる だけでいいから 生きていて	ハートフル
手を握る 小さくなった 母の手を	は一まま
毎日を 最後と思い 寄り添った	博士
手を握る 言葉にならぬ 会話かな	白雨
看護師の 溢れる汗は 宝石だ	はくちゃん
看護する 万能薬はその笑顔	はしびろこう
そばにいただけでなんだかうれしくて	ぱせり
お大事に うれしい返事 「また来ます」	歯っぴー衛生士
最期まで 気遣う母の 「ありがとう」	はな
最期まで 教えてくれた 祖母の手よ	花
「笑ったとき」 祖母の瘦せた手 頬つつむ	ハナサカウ
脈打って 握る手の熱 わすれない	はなしゅう
病院へ 呼ばれる度に 覚悟する	離せばわかる
もう聞けぬ 妻の小言を 今一度	華杏
相撲見に行こうわたしが杖になる	浜ぶどう
できること 減っても笑顔 減らさない	ハム吾郎
あの笑顔 見たから明日も また白衣	はやし
最期まで母は笑顔の伝道師	隼人
結局は 人を支える のは人だ	葉山つむぎ
「元気でね」 それはこっちのセリフだよ	はらみ
永遠に祖母は生きると思ってた	はるうらら
痰吸引下手でごめんね 苦しいね	春のことり
引き算を重ねて人はやわらかい	春野まどか
勝てずとも負けない今日を引き分ける	はるひさ
親の歳 笑い声まで そっくりに	Bガーネット
飲まぬなら 飲むまで待とう 服薬時	ぴい子
入所して 優しくなれた 母も子も	ひーやん
今はただ 思い出すのは 笑顔だけ	翡翠
満面の笑みそれだけでほっとする	ひつじ獅子

作品	雅号
苦しみに そっと温もり 手のひらの	畢生
温もりが 伝わる母に 時止まれ	ヒデヒデ
まだ死ねぬ 医者が仏に 見えてくる	火鍋金太郎
介護して生きる喜び貰えたら	ひねた猫
息子より 猫の心配 してる母	ひまねこ
泣き言は 言わない母の 目に涙	風信子
夜勤へと 出てく娘の 背にエール	ヒラコウ
最期まで 看ていてくれて ありがとう	広石 亜希
介助した 数だけ育つ 力こぶ	ひろろん
桜舞う祖母に 寄り添う母を見る	風香
泣かないよ いつもあなたは ここにいる	ふじちゃん
立てた日に 拍手広がる リハの部屋	ぷす
大丈夫 勇気をくれる 看護の手	ぶっきー
忘れない コロナ禍で見た あの勇姿	筆寝夢
AIも 取って代われぬ この掌	文華
覚悟など出来ていないと知った夜	冬子
また明日 初めて聞いた 母の嘘	ブラックココ
「ご飯まだ？」 さっき食べたの 夢の中？	ぷらむ
流すまい 耐えてた涙を 見てくれよ	ふわり
よちよちと 杖突き母に 歩を重ね	文太郎
ありがとう その一言で 明日がある	ペケポン
点滴の ぽたりぽたりと 夜更ける	ペト
病名の前に私を見てくれる	ぺぬしの
それだけで 幸せな朝 いい寝顔	ベンジャミン
人生に 悔いなし 残し 父空へ	ポジティブ
指ひとつ 動くたび増す 生きる糧	ポジティブ思考
あなたに名前を呼んでもらえて頑張れる	帆原つばめ
また寝てる どうぞ素敵な 夢であれ	ほほえみ
神対応 裏で走って 汗だくに	保保君
母が逝く 時間よ止まれ 巻き戻れ	ぼぼぼ〜ん
ありがとは俺のセリフや あんたじゃ無い	ぼやき親父
病む父が飲み込む言葉「帰りたい」	ほり・たく
嘘じゃない 老いたあなたは 恥じゃない	ホルモンくん
出来ぬこと 増えてせめての 恩返し	PON5
つける嘘 すべてつきます 母のため	ポンズ

作品	雅号
声掛けに 返事なくても 優しい目	ホンダ
いいんだよ 一步一步で ゆっくりと	ぽんぽん
慣れたはず それでも慣れぬ 別れかな	ぽんゆず
薄れ行く 記憶の今も 父は父	まーきん
弟の 名を呼び母は 逝きました	MAKO
悲しげな笑顔にそっと「また来るよ・・・」	まここちゃん
あと何回 この手を握る 朝が来る	マコッチャン
あと少し もう少しだけ ここにいて	孫娘
まばたきで よう来てくれた 母が言う	マサト
懸命に生きる姿に励まされ	ますます
ごめんやで 泣かせるつもり ないねんで	またね
出来ないを そっと寄り添い 日々繋ぐ	まつげ太さん
母さんの涙の中にいる私	マッサン
ありがとう 命を救う 最前線	松本大輝
女医さんにお尻を見せる 恥ずかしさ	ママチャリダー
言葉数 減ってもくれる ありがとう	まみこ
デイケアの母を連れ出し夏祭り	豆の蔓
父ちゃん！の声でかつての父となる	まゆまゆ
「大丈夫」 そのひと言が 薬です	まゆまろ
床（とこ）に咲く親子の絆春が逝く	まりりん
「治るよ」と 泣いて泣かせる 母の嘘	真凜
診察券 増えて月日を感じてる	まる
痩せとくれ 介護するのは ワシだから	まるちゃん
顔埋め 洗濯物に 母思う	まるま
唇の 動きで読んだ「ありがとう」	マンボウちゃん
神様と綱引き連れて行かないで	みえこ山
逝かせない 逝かせたくない 母よ待て	みかん
手は、出さない。 立ち上がる今 信じてる	三木あおい。
「悔いはない」 待てよ俺には 悔いがある	水瓶座
子のために だけ生きた母 目を開けよ	みちこ
辛いなら 言っでいいのよ 我慢せず	ミッキィばあば
カルテより 先に覚える 顔と癖	ミッチー
来年も桜見ようね約束よ	みっちゃん
白衣着る命の重み背負い行く	ミッフィ
やめたい日 やめられぬ理由 目の前に	みとり1号

作品	雅号
生き切った 父へ無理言う 目を開けて	みなおくりびと
寄り添えば 消えゆく痛み 春の風	港の望み
先生の 術後の笑顔 皆ホッと	南のサッチー
あの人の 「いつも通り」 を 守る日々	ミネ
忘れない かすれた声の ありがとう	みのり
最後まで消えないでいて私の名	ミモザ
忘れても 笑顔ならいい それでいい	ミヤアノオ
気をつけて 帰れと車椅子の父	宮城四季
父と手を 繋いでふたり 照れ笑い	宮のふみ
何気ない 会話の意味に 気付いた日	深山雄郷
看取り終え 答え合わせは できぬまま	みゆきち
「残される 身にもなれよ」と 父が泣く	みらいむ
手をそえる その温度まで 看護です	miri
存在が 家族を繋ぐ ありがとう	ミルク
退院日 とっても軽い 足の音	ミンミンゼミ
泣き声に なにか溢れて つられ泣き	夢幻
母よ母 よくぞ生まれて よく生きた	盟主クサイ
父さんよ まだ連れてくなく 母さんを	銘悠庵
さよならを ありがとうへと 返す手に	めめちょBOY
花好きの 母に絵はがき 百を越え	面会禁止
今日もまた 誰かの「普通」 支えてる	萌月
あんた誰 言われても尚 握る手よ	木蓮
いつか死ぬ それでも今日を 生き抜くぜ	もち代ママ
無理難題 言ってた君は もういない	モトゾー
間に合った逝くなと祈るただ祈る	もふもふ
「さようなら」 明日も言いたい 言ってくれ	もものはな
命より 大事なものは ないと知る	もりたん
カルテには 書けない涙 拭く仕事	森野 仁
「ごめんね」と 添えるその手が あたたかい	やくみ
座礁した ままで動けぬ 我が心	やすよ
また来るね か細い指が 離さない	痩蛙
なあ親父 けんかしようぜ 負けてやる	ヤブイヌぐんだん
生きている 事だけでいい 母介護	山ちゃん
リハビリの原動力は好奇心	やんちゃん
思い合う その瞬間が 生きる糧	ゆいか

作品	雅号
名前より 先に覚える その笑顔	ゆーい
泣いた子が 手を振り残す 「また来るね」	結木みお
できること 奪わぬケアに 手を添えて	優風
握る手はまだあったかい母の手だ	夕風
後悔が山積みになる枕元	夕陽のガンマン
ヨサコイを手だけで踊る車椅子	郵呆
白衣越し 笑顔ひとつで 薬効く	ゆかいべいびー
まだ泣くな その心電図 まだ風ぐな	雪道
ありがとう その一言で 今日に行く	ゆっぴ
言えたなら 癒えるだろうか 「ありがとう」	有美
握る手の 温もりで知る ありがとう	夢追い人
ただそばで 今日と呼ばせて お母さん	ゆらら
絶対に 救ってみせる その命	ヨーグルト杯
「ありがたい」 お互いさまの「ありがとう」	吉成小骨
つたう汗 笑顔咲かせる 露となる	よし兄
おはようの 笑顔の音が 長寿薬	よしやん
カルテには 載らない笑顔 処方され	四つ足ライオン
「歩けない」 言うたその足 ひ孫追う	よっさん
頑張れと 言わぬ貴方の 優しさよ	よっち
母強し 弱さ見せても なお強し	夜宮
先生の 励まし言葉 お守りに	よもぎ
夜勤明け 朝日がしみる 帰り道	よりそいびと
大往生 影に介護の 苦楽あり	夜の羊
伝えたい 退院迎え ありがとう	四兄弟の長男
生きたいと 願うその目が 語ってる	らいがーまん
手を引いてやがて引かれて散歩道	落下星
あなたのこと 誰かが見てる 一人じゃない	りえ
ありがとう 言わなくていい 生きていて	龍斗
ちちんぷい 泣く子の味方 絆創膏	りゅうり
ありがとう 晴れの日待って 逝った父	菱巨志
生きている ここであなたと 優しさと	りょう君のママ
最期まで 聴こえているよ 君の声	凌優
年老いた それがどうした まだ生きる	りょうりん
この峠 共に超えると 握った手	りりち
介護士の いとこの背中 勇ましい	りんご

作品	雅号
さりげない その一言が 救われる	るい
揺れ動くもう苦しむなまだ逝くな	ルーキー
聞こえてると 信じて父へ ありがとう	ルーク
忘れない 記憶で生きる 永遠に	瑠璃
長生きを 長活きにする ケアプラン	瑠璃糖
揃うまで 祖父の鼓動は 待っていた	るんまみ
できたこと 昨日より増え 杖軽く	蓮都 源
寝たきりの 不安をそっと ほどく声	朧月
強がって 子には押させぬ 車いす	老人生
温もりで 母と私は 意思疎通	老朗親子
医療者も 寝てゑ 食いてゑ 休みてゑ	ロングストスリーパー
感謝しとる そう呟いて 逝った父	ろんのあ
ぬくもりは 技術を超える ケアになる	和三盆
早く来て雪かきをするヘルパーさん	渡辺春樹
ありがとう、と言えるまでには尽くしきる	ワンニャン戦士
さようなら 会えてよかった こちらこそ	をん。